

末梢血管外 幹細胞

薬の副作用で腎臓を壊された部分をもとのまま戻すことは「不可能」と思われたが、それが手がける「再生医療」は、もう現実のものだ。これまでの治療法では、血管内膜が増殖するため血管が詰まることで血流が止まる。これを解消する方法として、内皮細胞を移植するが、これがうまくいかない。そこで、内皮細胞よりも細胞分裂能の高い幹細胞を注入する。幹細胞は、血管の内皮細胞を増殖させ、内皮を増やす。これにより、血流が回復する。

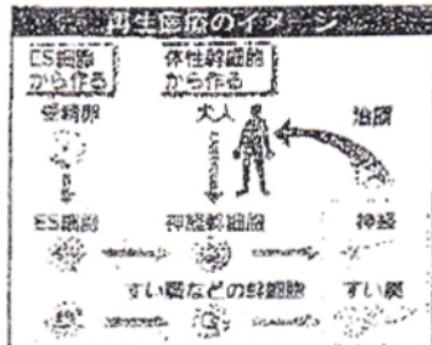
「再生医療」とは、生物学的な手法を用いて、再生医療のための技術開発と臨床的な技術開発と並行して、再生医療のための技術開発を行なう。再生医療のための技術開発には、細胞生物学、分子生物学、免疫学などの基礎科学的研究、また、臨床医による病態調査、治療法の開発などが含まれる。

「再生医療」は、日本の医療で最も注目されている分野だ。特に、血管の内皮細胞を増殖させる技術が、治療法として実現した。

「再生医療は、まだ始まったばかり」とさくらはいふ。一方で、「再生医療」は、すでに多くの研究者が取り組んでいる。東京大学では、再生医療を用いた新しい治療法を開拓する研究が進められている。また、再生医療の研究は、産業界でも注目されている。日本では、再生医療の研究が進んでおり、再生医療の技術が、実用化される日が近づいている。

「再生医療」の技術開発は、再生医療のための技術開発と並行して、再生医療のための技術開発を行なう。再生医療のための技術開発には、細胞生物学、分子生物学、免疫学などの基礎科学的研究、また、臨床医による病態調査、治療法の開発などが含まれる。

再生医療のための技術開発



「ES」「体性」両方試す

「再生医療」の実現化を目指して、再生医療のための技術開発を行なっている。再生医療のための技術開発には、細胞生物学、分子生物学、免疫学などの基礎科学的研究、また、臨床医による病態調査、治療法の開発などが含まれる。

「再生医療」の技術開発は、再生医療のための技術開発と並行して、再生医療のための技術開発を行なう。再生医療のための技術開発には、細胞生物学、分子生物学、免疫学などの基礎科学的研究、また、臨床医による病態調査、治療法の開発などが含まれる。